

花巻をもっとおもしろく！

青年まちづくり円卓会議



市政への意見や要望などをテーマに、地域の皆さんや各種団体と意見交換する「まちづくり円卓会議」や「特定課題懇談会」を開催しています。また本年度は、各分野で活動している30代、40代の方々と「花巻をもっとおもしろく！～若者が活躍するまちづくり～」をテーマに、若者の置かれている現状や課題を確認しながら、まちづくりへの思いを語り合いました。ここでは、その内容について紹介します。

青年まちづくり円卓会議出席者

- 松葉 孝博さん(花巻商工会議所青年部)
- 高橋 政紀さん(花巻市PTA連合会)
- 後藤 明美さん(花巻商工会議所女性会)
- 高橋 要さん((公社)花巻青年会議所)
- 平賀 志麻さん(花巻地域婦人団体協議会)
- 伊藤 充さん(太田地区振興会)
- 新淵 伸彦さん(花巻農業協同組合青年部花巻地域青年部)
- 昆 真喜子さん(花巻農業協同組合女性部フレッシュ部)

今、私が思うこと

■市長 行政の仕事は一口で言うと暮らしやすい環境をつくっていくこと。でも暮らしやすいだけではなく活気もほしいと誰もが思っている。自然豊かな中にも時には活気があるようなメリハリのある暮らしやすさというのが地方都市の魅力。

今回は、活気づくりに欠かせない働き盛りの皆さんから率直な考えを伺いたい。

■松葉 孝博さん まちづくりに「おもしろく」という考えがとても大切。自分の発想や発言が実現に向かえば、若者も責任を持って発言するだろうし、やる気も起る。それが花巻に住みたいという思いにつながる。

花巻には、ワクワクするような部分が少し欠けている。若者の意見が取り上げられるような雰囲気

があれば、いろいろな提案を持ちかけやすくなると思う。

■後藤 明美さん イベントが増え商店街が盛り上がるだけでなく、やはり住んでいて暮らしやすいまちがいい。まちづくりにも参加したいが、家事、育児、仕事に追われ、思うように参加できないのが実情。市内に子連れで行ける場所がないので、子どもと一緒に楽しめる場所がほしい。



後藤 明美さん

■新淵 伸彦さん 農業の将来のことを考えると、年配の方の話を聞くことも大切だが、若者の話も大切だと思う。若者の意見は、これからのまちづくりの新たな一歩になると思う。



松葉 孝博さん

■市長 仕事、子育て、家事など、大変忙しい状況なのに、皆さんはそれぞれの団体で頑張っている。各団体での活動の課題はどんなことでしょうか。

■昆 真喜子さん 団体がなくなったらどうなるのだろうか、若い人たちが少なくて大変だが、

■伊藤 充さん 自分が青年部長になったきっかけは、若いからやってみないかと言われたから。ほかに適任者がいると思ったが断れなかった。実際やってみると何をしたいのか分らない。

■松葉 孝博さん やらされ感ではなく、「やってみないか」と言われたら「俺でいいですか!」というような雰囲気組織だと思える。花巻市全体がそのような雰囲気になれば面白いと思う。

■昆 真喜子さん 団体の会員が減少し新規加入者もない。活動をPRしたいと思っている。ただ家事、育児から、なかなか家を出られないのも現実。そこをどうにかしていきたい。



昆 真喜子さん

■平賀 志麻さん 行事に参加するとき、育児との兼ね合いを考えると、子どもが病気などになったとき、助けてくれる人や施設がほしい。親がリフレッシュすることも大事。

■高橋 政紀さん 「花巻をスポーツのまちにしたい」という考えに共感する。自分もスポーツ関係でいろいろな活動に取り組んでいるが、子どもの可能性は無敵大なので、新しい技術や情報を教えることによって伸びていく。そのような環境づくりに力を入れていきたい。

■高橋 政紀さん 「花巻をスポーツのまちにしたい」という考えに共感する。自分もスポーツ関係でいろいろな活動に取り組んでいるが、子どもの可能性は無敵大なので、新しい技術や情報を教えることによって伸びていく。そのような環境づくりに力を入れていきたい。

団体の一員として思う

■市長 仕事、子育て、家事など、大変忙しい状況なのに、皆さんはそれぞれの団体で頑張っている。各団体での活動の課題はどんなことでしょうか。

■昆 真喜子さん 団体がなくなったらどうなるのだろうか、若い人たちが少なくて大変だが、

■伊藤 充さん 自分が青年部長になったきっかけは、若いからやってみないかと言われたから。ほかに適任者がいると思ったが断れなかった。実際やってみると何をしたいのか分らない。

■松葉 孝博さん やらされ感ではなく、「やってみないか」と言われたら「俺でいいですか!」というような雰囲気組織だと思える。花巻市全体がそのような雰囲気になれば面白いと思う。